

2023/08/27

8月27日にオンラインで開催された第21回日本テスト学会において、研究成果を発表しました

谷口京子<sup>1</sup>，光永悠彦<sup>2</sup>，渡邊耕二<sup>3</sup>

<sup>1</sup>広島大学，<sup>2</sup>名古屋大学，<sup>3</sup>宮崎国際大学

継続的な国際カリキュラム到達度測定のためのテスト開発  
—サブサハラ・アフリカ地域における三カ国を事例として—

### 要旨

本研究の目的は、学力の向上が課題であるサブサハラ・アフリカ地域におけるマラウイ、ガーナ、ウガンダを対象とし、三カ国において比較可能で継続的にカリキュラム到達度を測定することができる英語と算数のテストを開発することである。それぞれ2種類のテスト版を作成し、受検者の学力尺度を等化するために同時推定を用いた。また、2パラメタ・ロジスティックモデルを仮定し、三カ国の各学年について母集団上で別々の能力値分布を仮定する多母集団IRTモデルを用いた。「国際カリキュラム到達度」を測定することができるテスト開発を行ったことと複数の学年に同じテストを実施し「学年間での学力の差」を示したことが特徴である。

キーワード：テスト開発， 項目反応理論， 多母集団IRTモデル， 等化